



森の子ども図書コーナー No.149

交流サロンぼすと内



『ぜったいに おしちやダメ?』  
(ビル・コッター/作 サンクチュアリ出版)

この絵本には一つだけルールがあるよ。それは、「このボタンを押しちゃダメ」ということ。「このボタンのことを考えてもダメ。できるかな? たとえいいなと思っても、絶対にこのボタンを押しちゃダメだからね。このボタンを押しちゃったら、いったいどんなことがおこるか誰も知らないよ。オッカー! ここにはボタンを押す子はいないよ。じゃあページをめくってみよう。」注意: お父さんお母さんへ。ボタンを押すと大変なことがおこります。お子様が押しやすいように十分注意してください」と書かれていますか? 押しちゃダメ? 押しちゃダメ? 押しちゃダメ?

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



- 百年泥 / 石井遊佳
- 101のビジュアル・イリュージョン / サム・タブリン
- ディズニーまんまるあみぐるみのつるし飾り / 齊藤郁子
- 火定 / 澤田瞳子
- くちなし / 彩瀬まる
- 羽州ぼろ鳶組 鬼煙管 / 今村翔吾
- くらべる値段 / おかべたかし
- すごいストレッチ / 崎田ミナ
- 13歳から身につける一生モノの文章術 / 近藤勝重



『語彙力上達BOOK』  
(吉田裕子/総合法令出版)

「その言葉遣い、すごくもったいない!」悪気はないのに、不適切な言い方、失礼な言い方をしてしまう人がいます。そつとした言葉遣い一つで、印象が悪くなってしまう。それは非常にもったいないことではないでしょうか。この本は、例文を交えながら、正しい言葉遣いを教えてください。



『雪子さんの足音』  
(木村紅美/講談社)

学生時代を過ごしたアパートの大家の孤独死を知り、20年前の記憶がよみがえる。高円寺の家賃5万円のアパート月光荘。「サロン」と名付けた居間を下宿人に開放して食事や小遣いまで世話を焼く大家・雪子さんと、大学3年生の薫と、OLの小野田さんとの微妙なバランスで3人の生活は続いていったが…。

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」  
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介します!  
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します

道草便り Vol.1



暖かくなり穏やかで過ごしやすい季節となりました。「よみち」の連載からもう少しで1年。いつも観て頂き、ありがとうございます。今年度からは写真部のみならず、チーム道草全般の活動を「道草便り」と名前を改め、掲載していきたいと思えます。まずは金山の皆さんと交流して、その成果を見ていただきたいと思っています。さて、今月は4月6日に十日町地区に行ってきました! 雪が溶け始めた金山町でしたが、取材当日はあいにくの雨模様で少し冷え込みました。まず初めに邪魔したのは岸家具店さん。

金山杉の綺麗な木目を活かした、まな板やコースター、大きいものにはお洒落な間接照明やソファなど、色んな家具が金山杉で作られています。模様は木を組み合わせて作られており、木目の向きや木の色などにより様々な種類の模様がありました。

また、酒屋さんにも邪魔してお話させて頂きました! お仕事の内容や金山町の魅力、好きなところなどいろいろなることをまったりとお話してきました。今回の金山町の取材もとても楽しく、町の皆さんと触れ合うことが出来て良い一日でした。

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四十五回

- 星川 きえ子  
背を見て育てし孫も今朝巢立ち  
糸のうた流れる夜の春哀しい
- 岸 あき子  
桜湯の祝いの席や香気立つ  
天領にやさしき風よ吊し難
- 高橋 洋子  
水温む池のクレソン風に揺れ  
金縷梅に始まる山の目覚めかな
- 伊藤 敏子  
白湯吹いて春待つ心かな  
すれ違ふ亡夫に似たひと春さざす
- 阿部 サタエ  
よきともに恵まれてゐる路のたふ  
「妹へ」  
梅薫る道は一すじ華の道
- 鶉沼 よし子  
早春の扉を押しして蔵カフェ  
人の世の別れと出逢ひ鳥帰る
- 菅 越 庄司 けみ子  
はぐれたか鳴き声高く鳥帰る  
伊予柑に無事と香りを詰め込んで
- 荒屋 阿部 勝子  
悪天や笑顔わすれぬ初句会  
木の芽風湯宿の老いの笑顔かな
- 七日町 青柳 キエ子  
散華にも似たる舞なり春の雪  
面識を持たぬ黙礼難の道
- 羽場 坂本 徳太郎  
胸に気を満ちし歩みや春一番  
春愁をほどき放りて大空へ
- 上 台 阿部 一  
雪囲ひ解かれ広がる青き空  
幾山河こへて八十路へ巡る春
- 七日町 村松 恸風  
茶の間から貫ふ欠伸の長閑けさよ  
「町の老舗紹介記事を拝見」  
見事なり家歴をたふふ弥生天